



オンライン開催

# 誰一人孤立させない 「みんなの劇場」とは何か

～社会包摂型劇場を目指す丸亀市の挑戦～

第24回

適塾路地奥サロン

劇場が文化芸術愛好家のみが利用する施設からの脱却を求められて久しいですが、未だにハード先行で新たな劇場が整備され、運営に悩まされている自治体が殆どです。丸亀市では「みんなの劇場」をコンセプトとする新たな劇場整備に取り組み始めました。これまでにないやり方で社会包摂型劇場を目指す想いやプロセスについて、お話しいただきます。

## オンラインサロン開催

令和2年 6月26日(金)

18:30～Start 定員先着30名・参加費無料

話題提供・質疑応答(約110分予定)その後オンライン交流会もあり

申込  
方法

弊社ホームページ若しくは下記 URL の申込フォームから 6/19(金)までにお申し込み下さい。  
右 QRコードよりフォームの URL 取得可能です。

<http://urx.blue/4Wh4>

※お申込み出来ない場合は、①氏名②所属③電話番号④メールアドレスを明記した上、rojiokusalon.arpak@gmail.com までメールして下さい。



講師 村尾 剛志 氏

丸亀市産業文化部文化課  
市民会館建設準備室長



1969年丸亀市生まれ。香川大学農学部卒業。県内自治体では唯一の造園職として、都市公園整備・緑の基本計画策定など公共空間の計画・整備に携わる。住民との合意形成手法を事業に取り入れたことを契機に、市民活動・協働推進の仕組みづくりにも関わる。

スポーツ推進課では、市民球場整備に併せ、プロ野球誘致やJリーグホームタウン活動、女子サッカー推進活動などにも取り組んだ。2017年より新市民会館整備を担当。共著書に『社会的処方ー孤立という病を地域のつながりで治す方法』(学芸出版社)。

### 一丸亀市について

香川県中央部に位置する人口約11万人の県内第二の都市。近世より城下町、港町として、近代は軍都として発展し、現在の市街地が形成された。史跡丸亀城跡は、現存木造天守12城の1つである。国指定の伝統的工芸品「丸亀うちわ」は、国内シェア90%を超える。

適塾  
路地奥  
サロン

21世紀に入り、地域を取り巻く課題はより複雑化、高度化しており、単純なハードとソフトの融合というツールだけでは解決できない状況となっています。

アルパックでは、今一度、多方面で活躍されている実践者

や研究者の方々による具体的な活動や事業から「まちづくり」を見つめ直し、再定義し、「21世紀型の持続可能なまちづくり」のあり方等について、大阪事務所横の適塾のように「教えあい、学びあう」活発な意見交換を行いたいと考えています。